


人 チーム 制度



女性の会 WG・若手の会 WG 合同
 ～テレワークと今後の働き方に関するアンケート①～

新型コロナウイルス感染症対策として、建設コンサルタント各社でテレワーク等の対応がされましたが、対応は各社様々でした。そこで、建設コンサルタント会社に勤務する有志にアンケートを実施しました。本ニュースレターでは、アンケートの集計結果の中より代表的な回答についてご紹介します。

①回答属性

アンケートは 66 人から回答をいただきました。男女の構成比は男性 47%、女性 53%、年齢構成は 20 代～30 代が約 79%、40 代以上が約 21%でした。同居人の有無に関しては、「いない」が約 48%、「いる」が約 52%でした。「いる」の関係構成は以下のとおりです。

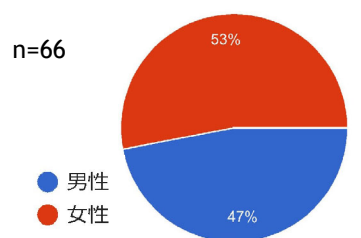


図.性別の結果

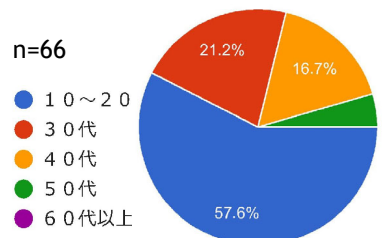


図.年齢の結果

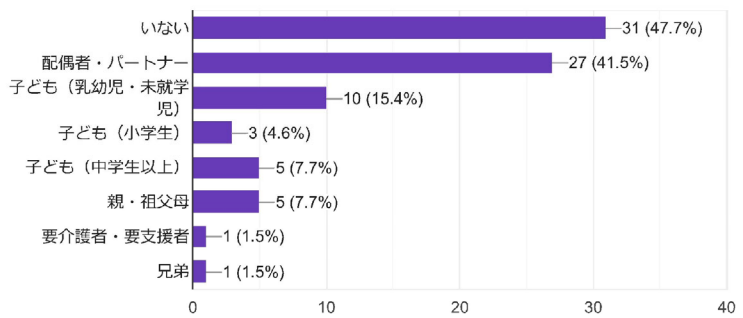


図.同居人の有無の結果

②緊急事態宣言時の働き方・会社の取り組みについて

(1) 緊急事態宣言時の働き方について

緊急事態宣言時においては、週 4 日のテレワークが約 29%と最も多い回答となり、次いで約 24%の方が、週 5 日の完全テレワークを行っていました。どの会社も急遽テレワークを実施しなければいけない環境だったことがわかります。

Q.週間のうちテレワークを行った平均日数をお答えください。

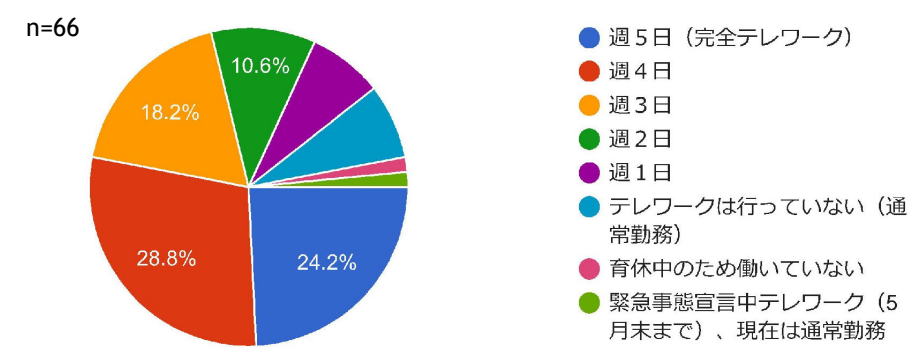


図.テレワークを行った平均日数の結果の結果

(2) 緊急事態宣言時のテレワーク環境について

緊急事態宣言時においては、「通常通り外出していた」と回答した割合は、約 8%程度にとどまり、すべてオンラインか、可能な限りオンラインに切り替えての業務を継続していたことが確認されました。

Q.緊急事態宣言時、客先や現地調査などで外出をしましたか。

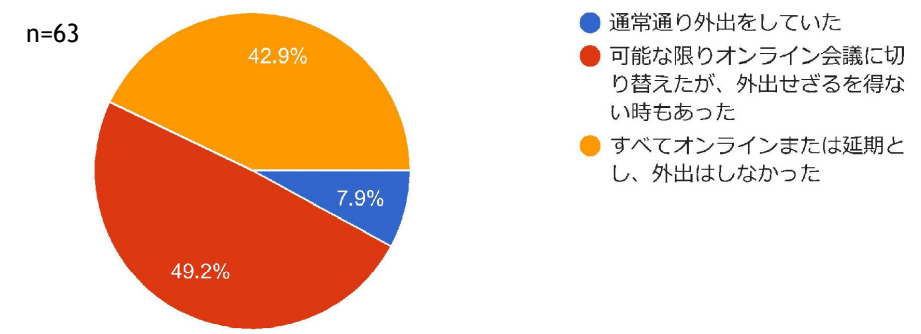
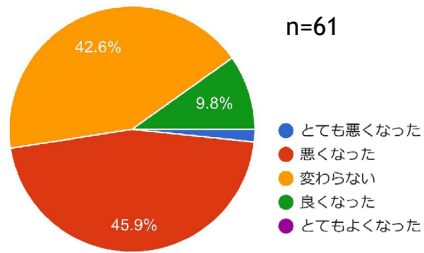


図. 緊急事態宣言時、客先や現地調査などで外出した割合

(3) テレワーク時の部署でのコミュニケーションについて

Q.社内でのコミュニケーションは上手に取れましたか。



社内でのコミュニケーションが「悪くなった」と回答した割合46%となっており、次いで「変わらない」と回答した割合が約43%となりました。一方で、社内コミュニケーションが「良くなった」と回答した割合は、約10%とわずかな結果となりました。

②テレワークを実施して良かったこと・課題だと感じたこと

(1) テレワーク環境について

Q.テレワーク環境に不便はありましたか。

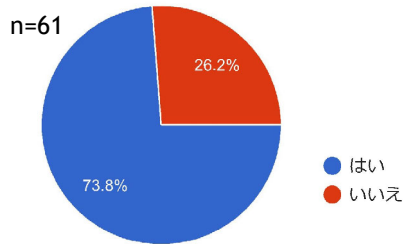


図.テレワーク環境に不便を感じたか

テレワーク環境については、約74%の人が不便と感じているという結果になりました。

テレワークに際して、自費で新たに購入したのものとして、ヘッドセット等のPC周辺機器が最も多い結果となりました。次いでイスやテーブル等の作業環境を整えるファニチャー類が多く見られました。

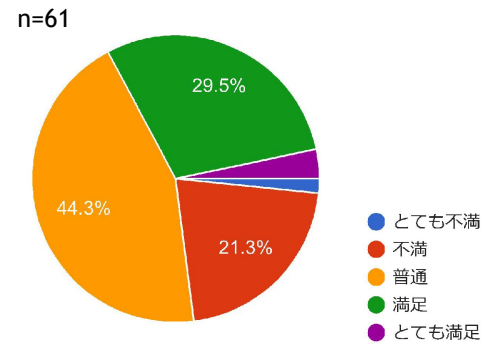
Q.テレワークに際し、自費で新たに購入したものはありますか。(複数回答)



図.自費で新たに購入したもの(複数回答可)

(2) 通常勤務(出社)と比較して、テレワークを実施した感想

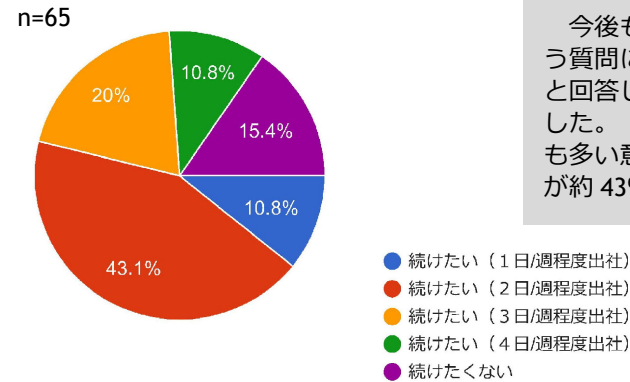
Q.テレワークの総合的な満足度はどれくらいですか。



テレワークの総合的な満足度は、「普通」が約44%となりました。

一方で、不満と回答した割合は約21%、満足は約30%という結果となり意見が分かれる結果となりました。

Q.今後もテレワークを続けたいですか。



今後もテレワークを続けたいかという質問に対しては、「続けたくない」と回答した割合は約15%にとどまりました。「続けたい」と回答した中で最も多い意見としては、「週に2日程度」が約43%となりました。

まとめ

アンケートを行うことで、緊急事態宣言時(1回目)の建設コンサルタント各社の従業員のテレワークの実施状況や、テレワーク環境の実態、テレワークに対する満足度や今後のテレワークによる働き方について様々な意見を確認することができました。次回のニュースレターでは、満足度と生産性についてのクロス集計結果から、テレワークでの満足度および生産性の向上に必要な改善点や課題を確認していきます。